都市公園安全•安心対策緊急支援事業 (事業区分:都市公園事業)

1. 長野県の現状と課題

【現状】

- ・アスベスト調査の結果、松本平広域公園体育館の吹付材のアスベスト含有量が基準値 の0.1%を超えていることが判明した。
- 危険度判定調査等で改善が必要とされた公園施設がある。
- ・公園施設のバリアフリー化が不十分であるため、身体に不自由のある方が利用しにくい。

【課題】

- ・松本平広域公園の体育館は、競技大会やイベント等、年間を通じて多くの一般の方に利用されている施設であり、早急にアスベストの除去を行う必要がある。
- ・危険度判定調査等により改善が必要とされた遊具等の改築・更新を早急に行う必要がある。
- ・身体に不自由のある方が安全・安心・快適に公園施設を利用することができるようバリアフリー化を推進する必要がある。

2. 計画の目標

- ・アスベスト調査の結果、アスベスト含有量が基準値を超えている公園施設について、建設 資材のアスベスト除去及び施設の改修を行い、公園利用者の安全・安心を確保する。
- ・危険度判定調査等で改善が必要とされた公園施設の改築・更新を行い、公園利用者の安全・安心を確保する。
- ・公園施設のバリアフリー化を行い、誰もが安全で使いやすい県都市公園を目指す。

3. 事業の内容

【計画の期間】 平成22年度~平成25年度(4年間)

【事業実施主体】長野県

【計画の成果目標】

計画の成果目標	H22(現況値)	H25(目標値)	
アスベストの除去・改修が未完了である施設数	1個所	O個所	※ 1
公園施設の改築・更新が未完了である公園数	2個所	O個所	
園路・駐車場・便所のバリアフリー達成公園数	5個所	7個所	

※1の目標値についてはH23末での最終目標値

【事業の主な内容】

基幹事業:体育館のアスベスト除去・改修 1個所(松本平広域公園)

改善が必要な遊具等の改築・更新 2個所(駒場公園、松本平広域公園) 園路・駐車場・便所のバリアフリー化 2個所(飯田運動公園、松本平広域公園)

【箇所数と事業費】

		県	市町村		計
基幹事業	5個所	670百万円	_	5個所	670百万円
関連社会資本整備事業		_	_		_
効果促進事業		_	_		_
計	5個所	670百万円	_	5個所	670百万円

- ※1 事業費は精算額としているため、整備計画の事業費とは合わない場合があります
- ※2 合計事業個所の5個所については、駒場公園、飯田運動公園、松本平広域公園の3公園である

4. 事後評価の結果

【目標値の達成状況】

計画の成果目標	H25(目標値)	H25(実績値)
アスベストの除去・改修が未完了である施設数 ※2	O個所	O個所
公園施設の改築・更新が未完了である公園数	O個所	O個所
園路・駐車場・便所のバリアフリー達成公園数	7個所	7個所

※2については、H23末の実績値

	H22	H23	H24	H25
●アスベストの除去・改修				
松本平広域公園 体育館				
●公園施設の改築・更新				
駒場公園 木製遊具等				
松本平広域公園 複合遊具				
●園路・駐車場・便所のバリアフリー				
飯田運動公園				
松本平広域公園				

■事業効果の発現状況

- ・松本平広域公園の体育館のアスベストを除去した結果、体育館利用者の安全・安心に寄与したものと評価できる。
- ・長寿命化計画により遊具等の改築・更新を行った結果、利用者の安全・安心の確保や計画的な修繕に寄与したものと評価できる。
- ・公園施設のバリアフリー化を行った結果、利用者の安全性及び利便性の向上に寄与したものと評価できる。

5. 評価と今後の方針

・改善を行った公園施設やバリアフリー化した施設が、安全・安心に利用されるよう適切 に維持管理していく。

都市公園安全•安心対策緊急支援事業 (事業区分:都市公園事業)

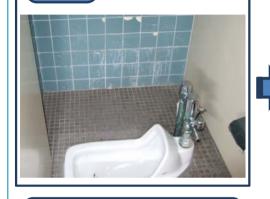
整備効果事例



改築・更新をすることにより 安全・安心性を確保

事例② 公園施設のバリアフリー化(松本市 松本平広域公園)





整備後

陸上競技場トイレ



狭くて使いにくい和式便所

スペースを広くし、 使いやすい洋式便器に改修

整備前



高低差のある階段状の園路

整備後

陸上競技場園路



スロープを整備し誰もが 使いやすい園路に改修